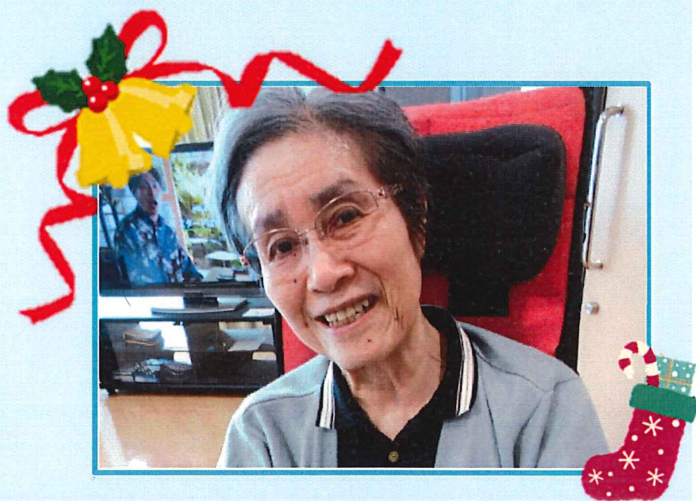
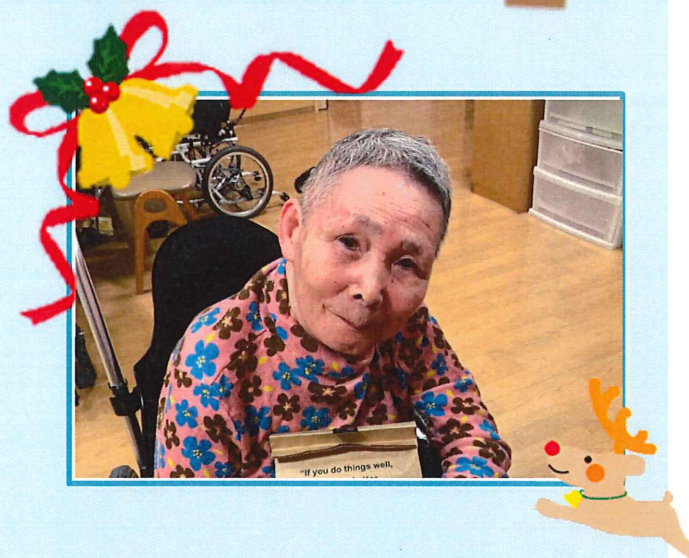




専門職ページ

内村副主任に聞いてみた



私は当施設のテイサービスでアルバイトから入職しました。その後、常勤職員として約3年程勤務させて頂いた後に介護福祉士の資格を取得してユニットへ異動してきました。現在はユニット業務の他、全体の動きの把握や情報共有、勤務

務表作成、職員向けの研修の開催等を担当させて頂いています。

介護職員としても至らない点が多いですがこれから入居者様の生活の支えになっていけるように日々精進して参ります。



ホームページ・SNS情報

月寒あさがおの郷のホームページでは定期的に行事やご入居者様の様子を掲載しています。今回はハロウィンや誕生日会の様子がアップされています。他にもTwitter・Instagram・Facebook・YouTubeもあり、いろいろと掲載しています！！是非、ご覧下さい！！



Twitter



Instagram



Facebook



YouTube



新型コロナウイルス 感染予防対策について



現在、北海道の新型コロナウイルスの感染状況は予想以上に安定的に推移しており、11月から「冬の感染拡大防止に向けて」（北海道）の中で基本的な感染防止行動の実践が勧められています。これから年末に向けて忘年会のシーズンになり、会社の同僚の方やご友人とお食事等に行く機会も多くなると思いますが、正しい知識と適切な感染対策を実践し、楽しく安全にお過ごしいただけたらと思います！



面会について



新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから、当施設における面会は中止、または1階ホールでの対応とさせて頂いておりました。しかし、最近の感染状況やコロナワクチン接種率が全国的にみても75%を超えているという状況を鑑みまして、感染対策をしながらご入居者との居室での面会を一部再開しています。感染状況等により今後変更することがあると思いますが、その際はまたご連絡させていただきます。



今月のグルメ旅

蒜山（ひるぜん）おこわ



岡山県、蒜山地方を代表する郷土料理で蒜山地方のお祭りや祝い事には欠かせない一品となっている「**蒜山おこわ**」を提供させて頂きました。

もち米に鶏肉・油揚げ・椎茸・ふき・銀杏・人参・ごぼうをふんだんに使用したおこわになっています！！

デイサービス

今月の予定・年末年始について



12月22日（水）クリスマス会 12月23日（木）入浴デイ

※利用者様の人数の関係上、他の曜日からの参加はできませんのでご了承ください。

※令和3年12月30日～令和4年1月3日、デイサービスは年末年始のためお休みとさせていただきますのでご了承下さい。



社会福祉法人 溪仁会
ik 月寒あさがおの郷

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条11丁目2番35号

☎011-858-3333

施設ホームページ URL <https://www.keijinkai.com/asagao/>





豊牧株式会社
代表取締役 阿部 知博 様



月寒あさがおの郷
施設長 一柳 規雄
with 広報メンバー

「月寒あさがおの郷 創立10周年」を記念して、当施設の土地オーナー様にお越しいだき座談会を企画いたしました！これまでの多大なるご理解とご協力、ご支援に感謝申し上げますとともに、設立からこれまでを振り返り、当施設へ期待する役割など、様々なご意見を頂戴いたしました！

福祉に特化した地域にしたい

阿部社長 先代の社長が戦前からこの辺り一帯で牧場を営んでおりましたが、周囲が住宅地となってきたのを機に牧場を北広島へ移転しました。その跡地を不動産賃貸業として設立したのが「豊牧株式会社」の成り立ちです。その後商業施設など建ちましたが、時代が流れこの一帯が再開発されることとなり更地となりました。リーマンショック前の景気のいい時代ということもありマンション業者さんからの土地売却依頼がとにかく多かったですね。

一柳 当時は特養などの高齢者施設に対する認知度もまだ低い中で、広大な土地をお貸しすることについて、どのようなご意思で決断されたのでしょうか？



阿部社長 先代の社長は実は反対していたのですが、これから高齢化社会を迎える中、絶対に高齢者施設が必要となるだろう、という考えのもと、まずはグループホーム（他法人運営）を建設しました。

一柳 グループホームが最初だったんですね。そして溪仁会から特養の話がきた、と。



阿部社長 溪仁会さんとの交渉で印象に残っているエピソードがあります。特養は当時 3,000 人待ちとも言われていた時代ですので、私は尋ねました。「立地的にここは賃料が高くなります。特養は入りたい人が多いから多少不便でも安

価な場所で良いのでは？」と。「この土地に建てたいのは、スタッフのためでもあります。介護は、建物も大切ですが、携わるスタッフも大切です。良いスタッフに集まってもらうには、通いやすい場所が重要です。良いスタッフを集めることが、介護の質を担保することにつながるのです。」と溪仁会さんは話されました。“入居する人だけではなく、勤める人のためにも建てたい”というのが、当時の私にはカルチャーショックのような衝撃でした。

一柳 従前、特養は土地を所有していなければ建てられませんでした。50 年間という定期借地権で運営ということも法人初でした。札幌市より採択されなければ賃貸借契約は白紙となる誓約も社長と交わしました。そして 2010 年 2 月、無事に採択を受け契約を結ぶことができました。同年 7 月、近隣の方に説明会を行いました。が…厳しいご意見があがりました。





阿部社長 そうですね、そこからの数か月のことが印象深いですね。正直いうと、交渉がなかなか進まなかったですね。一柳施設長たちの「今後50年間この地で運営していくにあたり、わだかまりを残したままスタートするのは避けたいので、もう少し時間をください。」という熱意には感銘を受けました。建築着工を伸ばしてまで、地域の方の声一つひとつに丁寧に対応していることに、この人たち本当にすごいな、と感心しました。

一柳 阿部社長が土地オーナーとして説明会に参加して下さり、「これからの地域に必要とされる施設」ということを強く説明していただいたことが大きかったと思っています。

地域をもっとPRしていきたい

一柳 その後、ここ一帯は老健・保育園・高齢者住宅等、経営母体が別々の法人で建てられました。こういう集合体は珍しいと思うのですが、構想的には何かあったのでしょうか。

阿部社長 この地区は医療・福祉・教育に特化した施設を集めよう。という方針でございました。こういう施設があったほうがよいのでは？という考えでグループホーム・特養・老健・小規模多機能・高齢者住宅と、考えられる高齢者施設を誘致した結果です。そういう施設が集まっている地域性をなんとかアピールできないか、が今一番の課題です。そのために「地域交流会」を豊牧主催で開催させていただいております。施設責任者・町内会の方に一堂に集まっていただいて、豊牧を介さずともお互いが直接「顔の見える関係」を築いて「この地域で高齢者施設を運営している」という仲間意識をもっていただければという想いがあります。

一柳 阿部社長のおかげで施設間も良好な関係が築かれていると感じています。当法人の職員が一带の施設を見学させてもらったこともありましたが、都度了解とらずとも直接やりとりできる関係を築けているのはとてもありがたいと思っています。別法人で競合というより、別法人だからこそ、うまく融合されていると感じます。

この地域が活性化してほしい

阿部社長 当社は、この地区に立脚してこの地区以外は運営していません。この地区が活性化してほしい、というのが一番の願いです。施設それぞれが活性化していけばおのずと地域が活性化していくと思っています。どうしたら地域が活性化するか、ということをとにかく考えています。職員の方が出産後、保育園に預けられないため復職できない、という話を聴きましたので、認可保育園も建てました。入園許可は市の管轄なので、地主であっても優先してあげられないのが歯がゆいですが（笑）

一柳 職員のお子さんも入園していますよ。本当にこの立地は特典だと思っています。

佐藤 私も学生のときの実習先としてここに来ていましたが、駅が近いのはすごくありがたかったです。地下鉄から徒歩7・8分という施設はほとんどありません。周囲にも医療福祉職の人が多いという安心感もあります。

地域全体の活力の要に

一柳 最後に、10年の節目を迎えた当施設に対する期待などをお聞かせください。

阿部社長 このお話をいただいて、あれから10年になるのか、と感慨深く思いました。もう10年、まだ10年。私としてはこの施設は、地域の核になる施設だと思っています。これからの時代、ますます重要性を増してくるお仕事だと思います。施設がしっかりと良い運営をすることで、地域全体にも活力が湧いてくると思います。皆さんに頑張ってくださいしかありませんが、豊牧にできることがあれば検討させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

一柳 こういった高齢者施設への理解をさらに広め信頼していただけるよう発信し続けてまいります。こちらこそ今後ともご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



PR がんばります！

より良い地域づくりを目指します！